

〔国際会議開催〕

申請者	東京工業大学 工学院 教授・国際広報担当副学長 岩附 信行	2235001
国際会議名称	The 16 th World Congress on Mechanism and Machine Science (IFTToMM WC2023)	
開催期間	2023 年 11 月 5 日～11 月 10 日（6 日間）	
開催場所	京王プラザホテル（東京都新宿区）/現地開催	
申請者の役割	組織委員長	

概要：

第 16 回 IFTToMM World Congress を東京新宿で開催した。IFTToMM（International Federation for the Promotion of Mechanism and Machine Science）は、機構と機械科学に関する国際学術団体であり、46 の国と地域が参加している。World Congress は 4 年に一度開催され、機構や機械の科学に関する最新の研究成果の発表やキーノートスピーチ、チュートリアルなどが行われる。また、単なる学術講演会に留まらず、会期中に IFTToMM の総会や技術委員会、分野横断委員会などの開催を通して様々な議論や意見交換が行われ、各国・地域の研究者の学術ネットワーク構築の促進の役割も担う。

今回の World Congress では機械学習などの情報工学分野の技術に関するチュートリアルも行われ、ハードウェア中心の科学・工学分野との融合が図られた。開催規模としては、テクニカルセッションに 405 件の投稿があり、参加者は 530 名（海外 402 名、日本 128 名。同伴者は除く）であった。初日のチュートリアルでは、ハンズオンで機械学習プログラムを実装するセッションや、産業界からエンジンとパワートレインに関するシミュレーションのセッションなどが行われた。会期中のキーノートスピーチは Yonsei University の Prof. Dae-Eun Kim、東京工業大学の阪口啓教授、IIT Kanpur の Prof. Avinash Agarwal、University of Illinois at Urbana-Champaign の Prof. Nancy Amato の 4 件であり、参加者からは IFTToMM の関連分野および周辺分野に関する新たな視座を得たと好評であった。

総会では次期会長などの役員や次回の World Congress 開催地が各国・地域の投票によって選出された。次回 2027 年の開催国はブラジルである。コロナ後初の日本開催の World Congress でさらに強固となった IFTToMM ネットワークを基に、地理的な距離を超えて次回開催国のブラジルでの成功のために日本 IFTToMM 会議として強くサポートしていきたいと考えている。